



令和6年9月9日
海上保安庁

第20回アジア海上保安機関長官級会合への参加について (結果概要)

9月3日(火)から5日(木)まで、韓国・仁川にて開催された「第20回アジア海上保安機関長官級会合」に海上保安庁から宮澤康一次長が出席しました。

会合では、各国の取組や好事例を情報共有するとともに、今後の活動について議論がなされました。また、各国とのバイ会談も実施され、さらなる連携・協力を確認しました。

1. 日程概要

日 時：令和6年9月3日(火)から9月5日(木)まで
場 所：大韓民国・仁川

2. 参加国・地域等(18か国、1地域、2機関)

(1) 正式メンバー(16か国、1地域)

オーストラリア、バーレーン、バングラデシュ、中国、フランス、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、パキスタン、フィリピン、シンガポール、タイ、トルコ、ベトナム、香港(中国)

※ 正式メンバーのブルネイ、カンボジア、ラオス、モルディブ、ミャンマー、スリランカの6か国が不参加

(2) アソシエイトメンバー(2機関)

UNODC-GMCP、ReCAAP-ISC

(3) オブザーバー(2か国)

イギリス、イタリア

3. 主な会合成果

- ・ 「搜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法活動の予防・取締り」、「人材育成」及び「情報共有」の5分野について各国から発表。なお、それぞれの分野にワーキンググループが設置されているもの。
- ・ 「メンバー間の連携を維持・発展させること」に同意する共同声明を採択し、韓国の提案により、机上訓練に焦点をあてた合同訓練等の実施を検討する新たなワーキンググループを設立した。(別添参照)
- ・ 2025年のホスト国としてオーストラリアを選出した。
- ・ 日本は、韓国、オーストラリア、インドネシア、マレーシア、フィリピン、インド、トルコ及びReCAAPの7か国1機関とバイ会談を実施した。



各国機関長官級集合写真



本会合の様子



バイ会談の様子(韓国海洋警察庁)



海上保安庁次長スピーチの様子



ワーキンググループ会合の様子



ユン大統領スピーチビデオ

共同声明（仮訳）
第 20 回アジア海上保安機関長官級会合
（2024 年 9 月 4 日採択）

オーストラリア、バーレーン、バングラデシュ、中国、フランス、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、パキスタン、フィリピン、シンガポール、タイ、トルコ、ベトナム、香港（中国）及び 2024 年 9 月 4 日に韓国の仁川で実施された第 20 回アジア海上保安機関長官級会合に参加できなかったブルネイ、カンボジア、ラオス、モルディブ、ミャンマー、スリランカを含めた本会合メンバーである 22 カ国、1 地域の海上保安機関の長は、ReCAAP-ISC、UNODC-GMCP のアソシエイトメンバーとしての参加を得るとともに、各海上保安機関の権限及び任意参加の原則を最大限尊重するとの枠組みにおいて、

地域の海上安全の確保と促進のため、連携を強化することを確認し、2014 年に横浜で開催された第 10 回 HACGAM の共同声明に基づき、会合メンバーの連携を継続し、主体的に同会合の枠組みを活用することにより、安全で、美しい、アジアの海を未来に繋げていくことを合意したことを想起し、

HACGAM の基本思想であるミーティンググループからフィールドへという考え方に基づき、より実務的な協力関係を強化していくことの重要性を認識し、

HACGAM が 20 周年を迎えたことの意義を認識し、

過去 10 年間に於ける下記の会議の進展を回顧し、

1. オーストラリアを第 11 回会合に、トルコを第 13 回会合に、バーレーンを第 14 回会合に、フランスを第 17 回に新規加盟国として、ReCAAP-ISC を第 12 回に、UNODC-GMCP を第 18 回にアソシエイトメンバーとして歓迎
2. 「人材育成」、「海上不法行為の予防・取締り」、「捜索救助」、「海洋環境保全」の 4 つのワーキンググループを第 14 回会合で、「情報共有」を第 18 回会合で設置
3. バングラデシュ、インド、インドネシア、パキスタンが共同で提案した HACGAM のロゴとモットー「Safe Secure and Clean Seas for Future」を HACGAM の公式ロゴとモットーとして採用することに合意
4. HACGAM ウェブサイトを第 17 回会合で正式に立ち上げ

「捜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法行為の予防・取締り」、「人材育成」及び「情報共有」に対応する5つのワーキンググループが、議長国であるインドネシア、中国、インド、スリランカの代理としてパキスタン及びオーストラリアのイニシアチブの下、「Safe Secure and Clean Seas for Future」を維持・確保するための取り組みを前進させていることを認識し、また、ReCAAP-ISC によるアジアの海賊・武装強盗の最新情勢に関する報告では、HACGAM メンバー、ReCAAP フォーカルポイント、各国法執行機関の努力により、アジアの海賊・武装強盗の状況は改善されてきているとの報告を受け、

韓国沿岸警備隊による、机上訓練に焦点を当てた合同訓練を含む新たなワーキンググループ設立の提案と、拡大される情報共有ワーキンググループとの統合、及び韓国との共同議長を引き受けたオーストラリアの努力を評価し、

オブザーバーとして英国、ゲストとしてイタリア沿岸警備隊の参加を歓迎し、

オーストラリアの2025年HACGAMのホストへの寛大な申し出と全メンバーの招待に感謝し、

韓国海洋警察庁によるHACGAMの対面開催にかかる多大なる努力と素晴らしい調整に感謝し、

我々は、国家間の海上保安に関する連携が、地域の海上安全の確保と促進に有効であると確認し、「Safe Secure and Clean Seas for Future」を確かなものとするため、この連携を維持・発展させることに同意した。